



平成20年3月期 中間業績レビュー
と
平成20年3月期の業績見通し

平成19年11月22日

株式会社 昭和システムエンジニアリング



目 次

平成 20 年 3 月期 中間業績レビュー

- 1 . 業績概要
- 2 . 事業別業績
- 3 . 事業別中間業績推移
- 4 . 貸借対照表

平成 20 年 3 月期の業績見通し

- 5 . 市場の動向と当社の対応
- 6 . 業績見通し
- 7 . 業績推移と予想



平成 20 年 3 月期 中間業績レビュー



1. 業績概要

売上高

2,300百万円(前年同期比 11.0%増)

売上総利益

362百万円(前年同期比 38.0%増)

経常利益

151百万円(前年同期比 272.7%増)

証券、金融、流通関連のシステム開発需要は引き続き旺盛であり、今年4月に新設したパートナー推進室の本格稼働で技術者確保が進展したことにより、これらの需要に応えることができました。

また、新入社員の早期戦力化、開発事故未然防止策が功を奏したこと等により、今中間期の業績は売上、利益共に前年同期を上回る実績を上げることができました。



2. 事業別業績

単位：百万円
(前年同期比)

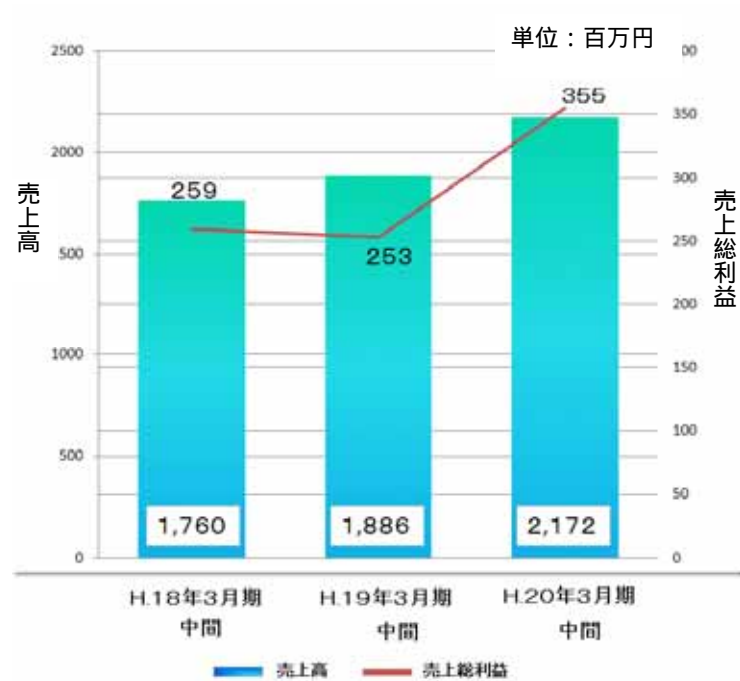
	ソフトウェア開発	入力データ作成	受託計算
売上高	2,172 (15.2%増)	95 (24.4%減)	31 (46.7%減)
売上総利益	355 (40.2%増)	1 (8.7%減)	5 (25.3%減)

- ・ソフトウェア開発事業は、旺盛な需要を取り込み増収、増益となりました。
- ・入力データ作成事業および受託計算事業は、受注量、受注価格とも低迷し、減収、減益となりました。

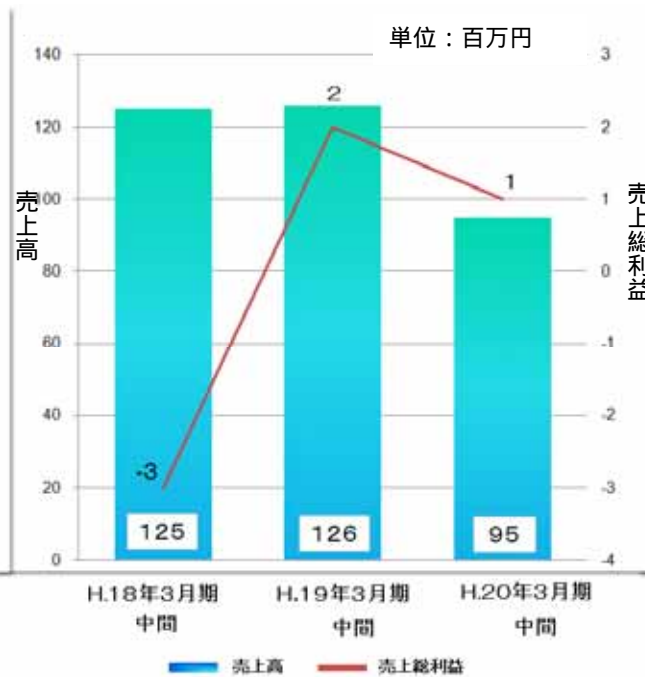


3. 事業別中間業績推移

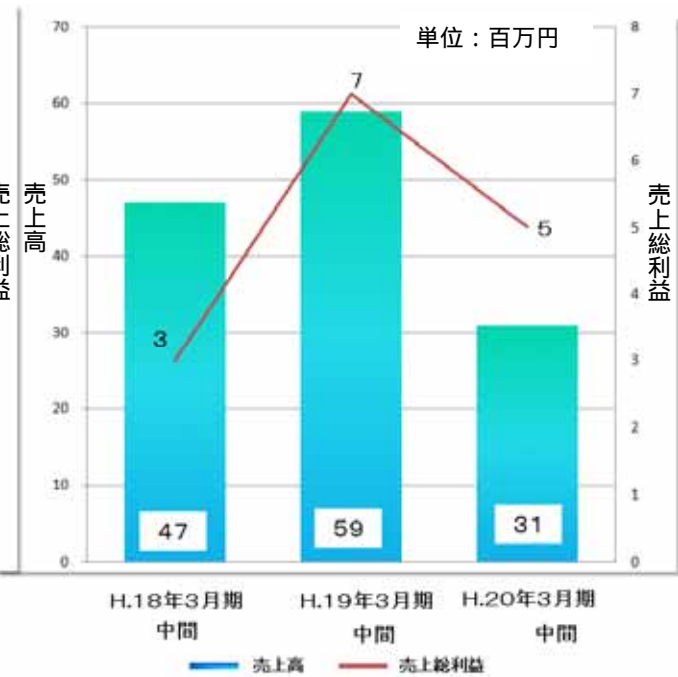
ソフトウェア開発事業



入力データ作成事業



受託計算事業





4 . 貸借対照表

単位：百万円（前年同期）

<p style="text-align: center;">(資産の部)</p> <p>・流動資産 2,873 (2,581)</p> <p>・固定資産 1,005 (1,101)</p> <hr/> <p>資産合計 3,879 (3,682)</p>	<p style="text-align: center;">(負債の部)</p> <p>・流動負債 562 (484)</p> <p>・固定負債 1,214 (1,170)</p> <hr/> <p>負債合計 1,777 (1,654)</p>
	<p style="text-align: center;">(純資産の部)</p> <p>・株主資本 2,292 (2,183)</p> <p>・評価・換算差額等 190 (155)</p> <hr/> <p>純資産合計 2,101 (2,028)</p>

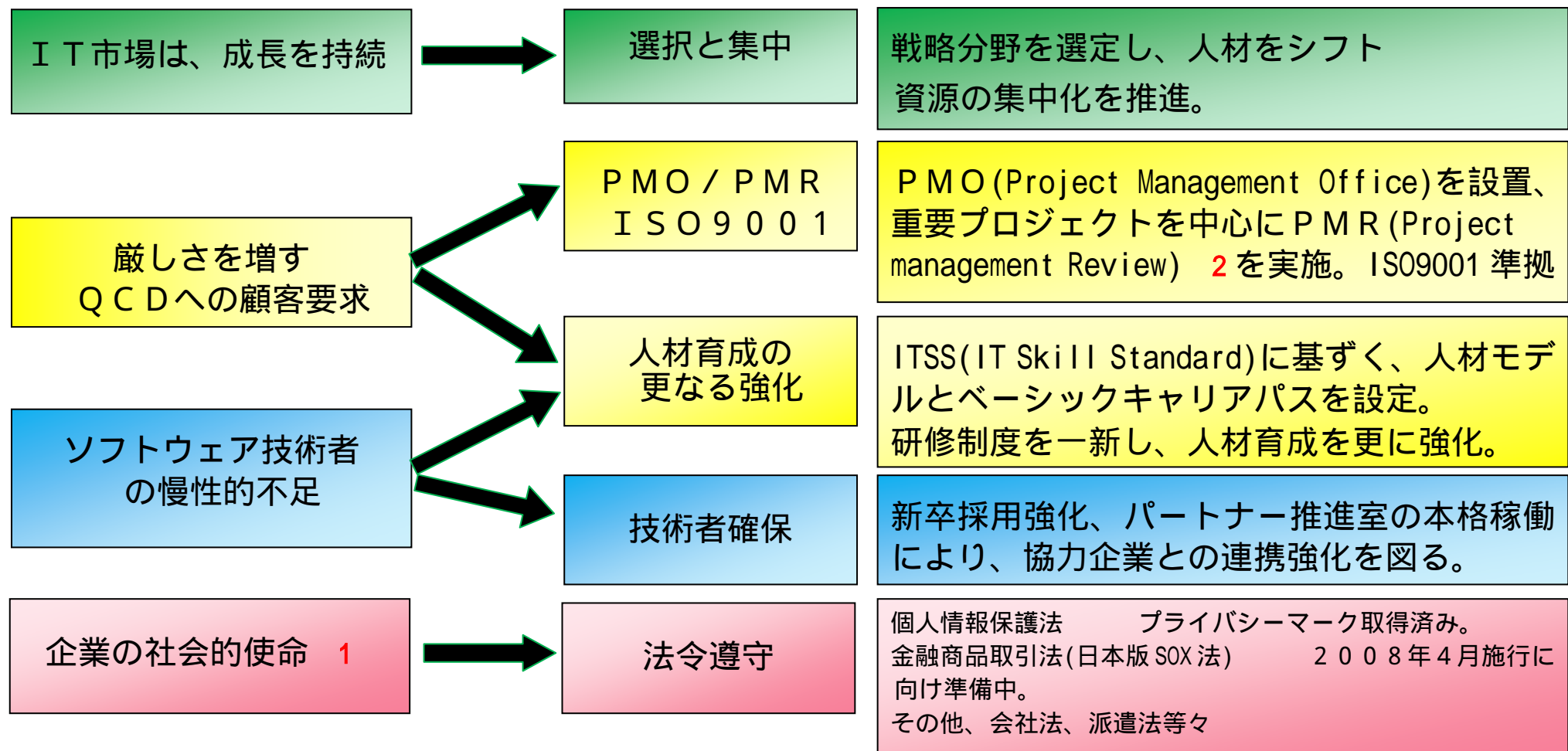
- ・流動比率は500%以上の安全性を維持。
- ・自己資本比率50%以上を維持。(54.2%)



平成 20 年 3 月期の業績見通し



5 . 市場の動向と当社の対応



1 : 企業の不祥事報道が相次ぐ中、善良なる企業市民たることへの社会の眼は厳しさを増している
と認識しています。

2 : 計画通りにプロジェクトが進捗するよう、社内の有識者がプロジェクト責任者からの報告に対し、
アドバイスを与える場。



6 . 業績見通し

単位：百万円

	平成 19 年 3 月期 実績	平成 20 年 3 月期 見通し
売上高	4 , 4 3 2	4 , 6 0 0
経常利益	2 0 5	2 3 0

今中間期の業績は売上、利益共に前年を上回る実績を上げることができましたが、通期の見通しにつきましては、円高・株安傾向、原油高等が国内経済全般に影響を与えるリスクに加え、顧客からの受注に関して若干の変動要素もあることから、売上高、利益とも当初発表予想のまま据え置くことといたします。



7. 業績推移と予想

